

事業の概要

【実施背景】

- 狛江市では、平成30年3月に、学校・家庭・地域が一体となって効果的に主権者教育を推進することを目的とし「狛江市総合的な主権者教育計画」を策定し（第1期：平成29年度～令和2年度、第2期：令和3年度～令和12年度）、「情報」「体験」という観点からアプローチし、主権者教育の取組みを進めている。子ども世代に対しては、模擬選挙などの取組に加え、『地域課題解決型子ども議会』を令和3年度から実施しているが、子ども議会までに行う事前学習の場ワークショップでの疑問や気づきをどのように子ども議会の質問に繋げていくかが課題となっていた。

【事業内容】

- 「ワークショップ」において、子どもたちそれぞれの課題を“地域の課題”に発展させていくため、地域の現状を現地で調査し、類似事例を調べた上で議論を行うことで、地域課題を自ら考察し、未来を見据えて課題解決するにはどうすべきかという視点を学び、「子ども議会」の質問に繋げることができた。

《取組》

- ・ 事前学習の回数を増加させ、主張や質問をまとめる時間を増やした。
- ・ 昨年の参加者からワークショップ・子ども議会の体験を学ぶ機会を設け、子ども議会で質問することを意識して事前学習を受講することができた。
- ・ 昨年の参加者を含めて話し合うことで、子ども同士で教え合う関係づくりを創出した。

【事業実績】

事業費 1,033千円（うち委託費1,000千円）



事業の効果、今後の展開など

- ワークショップ参加者が子ども議員となり、市長・副市長・教育長・副議長に対して質問を行い、子どもたちが楽しみながら社会的意思決定や問題解決のプロセスを学ぶことができた。一方で、参加人数が定員15名に対して7名となってしまう、中でも中学生の参加者が少なかったことから、告知方法やワークショップの内容を見直していく必要がある。